

## 農業

### 1 米

#### ①消費量が減った米

戦後、食生活が洋風化→その結果…



日本人1人1日あたりの米の消費量は50年前の約半分になっている。

米が余るようになったため、米の収穫量を調整する必要が生じた。

【           】政策…1970年代から始まった、米の生産量を調整する政策。（2018年に廃止）

・【           】…米のかわりに他の作物を作る

・【           】…稲作そのものをやめてしまう



1990年代後半までは、農産物の中でも産出額1位だったが今は畜産・野菜に次いで3位。

#### ②稲作に適した地域…豊富な水が得られる平野部

【           】盆地・【           】平野——石狩川（北海道）

【           】平野——【           】川・阿賀野川（新潟県）

【           】平野——【           】川（山形県）

秋田平野——雄物川（秋田県）

※日本海側の米の産地は、積雪があるため水田単作地帯が多い。

関東平野——【           】川（関東一帯）

近江盆地——【           】湖（滋賀県）

【           】平野——【           】川（福岡県・佐賀県。九州の穀倉地帯）

※網の目のような細かい水路【           】が発達している

もともと稲は熱帯性の植物→高温多雨の土地が生育に適している。

→高温であっても、水もちの悪い沖縄の土壌や鹿児島【           】台地などは向いていない。



## 2 麦・豆・いも類など

### ①麦

小麦：パン・うどん・パスタなどの原料となる。

生産量1位 北海道・2位 福岡県・3位 佐賀県

輸入相手国…1位【 】・2位 カナダ・3位 オーストラリア

自給率…約15%（14%、2017年）

### ②豆

大豆：とうふ・みそ・しょうゆ・油などの原料となる。

※酒、みそ、しょうゆなどを作る仕事…<sup>じょうぞうぎょう</sup>醸造業

生産量1位 北海道・2位 宮城県・3位 佐賀県

輸入相手国…1位【 】・2位 ブラジル・3位 カナダ

自給率…約5%（7%、2017年）

### ③いも類

じゃがいも（ばれいしょ）

生産量1位【 】・2位【 】県・3位 鹿児島県

さつまいも（かんしょ）

生産量1位【 】県・2位 茨城県・3位 千葉県

※さつまいもは乾燥や気温の変化に強く、栄養分の少ないやせた土地でも育つので、江戸時代からききんによる食糧不足対策として栽培された。今では<sup>しょうちゅう</sup>焼酎の原料としても用いられる。

### ④とうもろこし

ここで言うとうもろこしは飼料（家畜のえさ）用のもので、人間が食べるスイートコーンとは別。

近年、環境にやさしい燃料である【 】の原料としても利用されている。

輸入相手国…1位 アメリカ・2位 ブラジル・3位 南アフリカ共和国

自給率…0%（＝輸入100%）

### 3 野菜

野菜の自給率は約 80% (79%、2017 年) でここ 15 年ほどあまり変わっていない。

#### ①野菜の生産

##### ◇生産力を上げる工夫

- 【                   】農業…大都市の近くで野菜をつくり、出荷する。  
                  **輸送コストがあまりかからない、  
                  新鮮な野菜を早く出荷できるなどのメリットがある。**
  
- 【                   】…冬でも暖かい地域で、ビニールハウスや温室で野菜をつくる。  
                  ピーマン・なす・きゅうりなどの、実を食べる夏野菜が多い。  
                  例：【                   】平野（仁淀川）、【                   】平野（大淀川）
  
- 【                   】農業…夏でも涼しい地域で、キャベツ・レタス・はくさいなど葉を食べる冬・  
                  春野菜をつくる。つくられた野菜は【                   】野菜と呼ばれ、栽  
                  培のしかたは抑制栽培とも呼ばれる。  
                  例：孺恋村（群馬県）：【                   】山のふもと  
                  野辺山原（長野県）：【                   】のふもと  
                  コールドチェーン…保冷トラックを用いて鮮度を保ったまま各地へ輸送する方法。

※促成栽培も高冷地農業も、通常では収穫できない時期に野菜をつくることで、高い値段で売り、少しでも利益をあげようとする取り組みである。また、促成栽培や高冷地農業を行うことによって、年間を通じて野菜の出荷量を安定させることができる。

輪作…年によってつくる作物を変えていく。同じ土地ですっと同じ作物を作り続けた場合に起こる【                   】を防ぐため。

【                   】…1年間に2度、同じ作物を作る。主に沖縄県や鹿児島県などの暖かい地域。

【                   】…1年間に2度、違う作物を作る。例：春～秋に米、秋～次の春に麦など。

【                   】農業…化学肥料や農薬を使わない農業。家畜のふんやにようを使った、  
                  【                   】を用いる。有機農業でつくられた農産物には有機JAS  
                  マークがつけられる。

【                   】農業…狭い耕地に人手と手間をかけて生産をあげようとする農業。

⇔大農法…アメリカのように、広い土地で大型機械などを用いて生産をあげようとする農業。

### ◇その他覚えるべき事項

豊作びんぼう…作物が余ったため大幅に値下がりしてしまい、かえって農家が損をする。

【                   】…地元でとれた農産物をその土地で消費しようという取り組み。  
二酸化炭素の排出量が減り、環境にやさしい上、郷土への愛着が生まれる。

フードマイレージ…食糧の輸送量と輸送距離を測定し、食糧の生産地と消費地が近くなれば数値は小さくなり、遠くなれば大きくなる。環境への影響を測る数値。

セーフガード…ある農産物の輸入が増えて、同じ農産物を作っている国内の農家が圧迫されたときに、すぐに輸入制限をかける。

風評被害…産地の近くで重大な事件や事故が起こったとき、そこで取れた作物が消費者から避けられること。2011年の東日本大震災にともなう福島第一原子力発電所の事故で、福島県のみならず近県の農産物が売れなくなった。

### ②野菜の輸入

野菜は輸入品の方が、価格は安い。⇨国産野菜の方が、安全性が高いと感じる人も多い。

輸入相手国… 1位 【                   】・ 2位 【                   】

### ③2019年時点での覚えるべき野菜のデータ

順番は『日本のすがた2019』に出ている順とし、重要度順にABCとしています。覚えるのが苦手な生徒も、まずAだけでも絶対に覚えてください。

だいこん C（1位のみ）

	t	%
北海道	172300	13.0
千葉	140000	10.6
青森	128500	9.7

はくさい B（2位まで）

	t	%
	243700	27.7
長野	235200	26.7
北海道	28800	3.3

キャベツ A（2位まで）

	t	%
	261000	18.3
	245100	17.2
千葉	111100	7.8

トマト C（1位のみ）

	t	%
熊本	128200	17.4
北海道	62300	8.5
茨城	48000	6.5

レタス A（2位まで）

	t	%
	221000	37.9
	87300	15.0
群馬	49100	8.4

きゅうり C（1位のみ）

	t	%
宮崎	67200	12.0
群馬	55400	9.9
埼玉	46600	8.3

なす A (2位まで)

	t	%
	41700	13.5
熊本	31400	10.2
群馬	24600	8.0

ねぎ A (2位まで)

	t	%
	60000	13.1
埼玉	57900	12.6
茨城	51300	11.2

たまねぎ A (3位まで)

	t	%
	797200	64.9
	102600	8.4
	92900	7.6

にんじん B (2位まで)

	t	%
	193300	32.4
	101900	17.1
徳島	53100	8.9

ピーマン A (2位まで)

	t	%
	35500	24.1
	27600	18.8
高知	14000	9.5

いちご A (2位まで)

	t	%
	25100	15.3
	17700	10.8
熊本	10800	6.6

すいか C (1位のみ)

	t	%
熊本	47000	14.2
千葉	39000	11.8
山形	32200	9.7

メロン B (2位まで)

	t	%
	40000	25.8
	24900	16.1
熊本	20200	13.0

## 4 くだもの

1991年、オレンジが牛肉とともに輸入自由化され、外国産の安いオレンジにおされてみかんの生産量が減少。とくに愛媛県では、みかん→キウイフルーツやいよかんへの転作が増えた。また、くだもの自給率は約40%（39%、2017年）となっており、1980年の81%から減少が続く。

りんご：旬は秋～冬 涼しい気候の地域が適している。

みかん：旬は秋～冬 温暖な気候の地域が適している。山の斜面・段々畑を利用して栽培。

◇盆地…水はけが良く、昼と夜の気温差が大きいいため、くだもの生育に適している。

ぶどう：旬は夏～秋 生食だけでなく、ワインの原料となる。

もも：旬は夏 おうとう：旬は夏

### ◇その他

パイナップル（沖縄）、マンゴー（沖縄・宮崎）、西洋なし（ラ・フランス、山形）など

### ①2019年時点での覚えるべきくだものデータ

りんご A（2位まで）

	t	%
	415900	56.6
	149100	20.3
山形	47100	6.4

みかん A（2位まで）

	t	%
	144200	19.5
	120300	16.2
熊本	85700	11.6

日本なし B（1位のみ）

	t	%
	32000	13.0
茨城	23400	9.5
栃木	19000	7.7

ぶどう A（2位まで）

	t	%
	43200	24.5
	25900	14.7
山形・岡山	16700	9.5

もも A（2位まで）

	t	%
	39200	31.4
	28600	22.9
長野	14500	11.6

かき C（1位のみ）

	t	%
	47500	21.1
奈良	32800	14.6
福岡	18000	8.0

うめ C（1位のみ）

	t	%
	53500	61.6
群馬	5230	6.0
奈良	1910	2.2

キウイフルーツ C（1位のみ）

	t	%
愛媛	6840	22.8
福岡	5410	18.0
和歌山	4060	13.5

びわ B（1位のみ）

	t	%
	1050	28.9

おうとう（さくらんぼ） A（1位のみ）

	t	%
	14500	75.9

## ②くだものの輸入

国内でのくだものの生産は減少傾向。輸入くだものでは1位の【 】が全体の20%超を占めており、フィリピンからの輸入が80%ほどである。

## 5 工芸作物

工芸作物…食品や工業の原料のために栽培され、加工される作物。そのままでは商品にならない。

【 】：たたみ表の原料となる。熊本県（【 】平野）。  
近年、安い中国産の輸入がふえる。需要が減少している。

【 】：こんにゃくの原料となる。【 】県（下仁田町）。

茶：

生産量 1位 【 】県 大井川流域の【 】での生産がさかん。  
霜害を防ぐ工夫。

2位 鹿児島県 シラス台地での生産がさかん。

3位 三重県

4位 宮崎県

5位 京都府（宇治茶で有名）

砂糖の原料となるもの

【 】：北海道で生産。別名・ビート、さとうだいこんとも呼ばれる。

【 】：沖縄県・鹿児島県の奄美諸島で生産。バイオエタノールの原料にもなる。

2019年時点での覚えるべき工芸作物のデータ

茶 A（3位まで）

	t
	30800
	26600
	6130
宮崎	3770
京都	3160

こんにゃくいも A（1位のみ）

	t
	59700
栃木	1820

いぐさ A（1位のみ）

	t
	8410
福岡	123

てんさい A（生産は北海道のみ）

	万 t
	390.1

さとうきび A（2位まで）

	万 t
	76.9
鹿児島	52.9



## 6 畜産

畜産の生産額は、農業全体の中で1位（野菜2位、米3位）。

肉類の自給率は約50%（52%、2017年）となっている。とくに、牛肉・オレンジの輸入が自由化された1991年以降、安い外国産の肉に押されて、国内生産は減少傾向にある。

なお、日本の食料自給率は約40%（38%、2017年）だが、この数値には飼料などは含まない。畜産業では、飼料であるとうもろこしのほぼ100%を輸入に頼っており、実際の自給率はもっと低いとも言える。

その他、飼料として牧草も用いられる。畜産のさかんな地域では、牧草を固めてラップをかけた【 】が点在する光景が見られる。

### ①家畜のかかる病気

**BSE**：2001年から日本でも発生した牛の脳の病気。アメリカからの牛肉の輸入が一時ストップした。

鳥インフルエンザ：感染が確認されると同じ地域にいる鶏も殺処分となる。

豚コレラ：ぶたやいのししが感染する。感染が確認されると同じ地域にいる豚も殺処分となる。

### ②肉類の消費と輸入

肉類の消費量…1位 にわたりの肉・2位 ぶた肉・3位 牛肉

肉類の輸入相手国

牛肉：1位【 】・2位【 】

ぶた肉：1位 アメリカ・2位 カナダ

にわたりの肉：1位【 】

### ③2019年時点での覚えるべき畜産のデータ

乳用牛 A（2位まで）

	万頭	%
	79.1	59.6
	5.2	3.9
熊本	4.3	3.2

肉用牛 A（3位まで）

	万頭	%
	52.5	20.9
	32.9	13.1
宮崎	24.5	9.7

ぶた A（2位まで）

	万頭	%
	127.2	13.8
	82.2	8.9
北海道	62.6	6.8

採卵鶏 C（1位のみ）

	万羽	%
茨城	1388	7.6
千葉	1237	6.8
鹿児島	1071	5.9

肉用若鶏 A（2位まで）

	万羽	%
	2842	20.5
	2674	19.3
岩手	2244	16.2

## 7 日本の農業

### ①生産力を上げる工夫

- 【                   】…山の多い長野県などでは、山の斜面を利用して作られた田が見られる。  
同じような形状の田としては、石川県【                   】半島などに見られる  
せんまいだ  
千枚田があり、2011年に世界農業遺産として登録された。
- 【                   】…より味の良い品種、寒さや病気に強い品種を作る。  
例：(宮城県) ササニシキ⇒1993年の大冷害⇒ひとめぼれ
- 【                   】…水路の位置を変えるなど、耕地をまっすぐにして大型の農業機械を使いやすくする。

暗きょ排水…余分な水を田の外に出して、湿田を乾田に変える。 例：越後平野

- 【                   】…稲作に向いていない土地に、よそから良い土を持ってくる。

干拓…湖や海を干しあげて耕地を増やす

- 例：三大干拓地 【                   】(秋田県)  
【                   】(岡山県)  
【                   】(長崎県・熊本県・福岡県・佐賀県)

- 【                   】…荒れ地を切り開いて耕地とする。 例：根釧台地(北海道)  
野辺山原(長野県)

用水路

- 【                   】用水…【                   】平野(となりの徳島県の【                   】川の水を利用)  
※かつては【                   】(満濃池が有名)で【                   】を防ぐ

★愛知三用水★

- 【                   】用水…知多半島(木曾川の水を利用)
- 【                   】用水…岡崎平野(矢作川の水を利用)
- 【                   】用水…渥美半島(豊川・天竜川の水を利用 電照菊・温室メロン)
- 【                   】…郡山市へ(東北最大の湖である【                   】湖の水を利用)

## ②農家の分類

専業農家：主に農業の収入で生計を立てている農家

兼業農家：農業以外の仕事での収入がある農家

↓ ※最近では以下のように分類することが多い。

### ●主業農家

農業収入が、他からの収入よりも多く、65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家。

### ●準主業農家

農業収入よりも、他からの収入が多く、65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家。

### ●副業的農家

65歳未満の農業従事60日以上の方がいない農家。(⇒要するに高齢者だけの農家)

## ③日本の農業が抱える問題

第一次産業（農林水産業）に就いている人は、労働人口全体の4%にすぎない。

さらに、農業に従事する人々の【 】化が進み、農業人口の60%以上が65歳以上となっている。また、【 】不足も深刻である。

## ④自給率

日本の食料自給率…全体で約40%（カロリーベース）。

品目別の自給率…

米：約【 】%。日本人の主食。

小麦：約【 】%。値段の安い外国産の輸入がほとんど。

大豆：約【 】%。輸入される大豆のうち、遺伝子組み換え大豆の安全性が問われている。

野菜：約【 】%。鮮度が要求されるので輸入は少ない。残留農薬などの問題も。

果実：約【 】%。バナナが多い。グレープフルーツやアボカドなどの需要増。

肉類：約【 】%。日本人の食生活の変化によって、肉の消費量が増加。

鶏卵：ほぼ100%。日本人は卵を生で食べるので、野菜と同じく鮮度が要求される。

魚介類：約【 】%。冷凍技術の発達により輸入がしやすくなった。

## ◇食糧自給率が低いことによる問題点

- ・安い外国産の農産物に押されて、国内の農業が衰退する。
- ・相手国の事情で輸入がストップすると、国内で食糧不足になる可能性がある。
- ・輸入相手国に頼り過ぎていると、その国に対する発言力が弱まってしまう恐れがある。
- ・農薬や化学肥料、遺伝子組み換えについての基準が日本と違うため、安全性への不安がある。

# 林業

## ①林業の現状

高齢化・後継者不足は農業と同じ。

木材の需要が減っている。←木造建築よりもコンクリート建築が増えてきた影響。

## ◇木材の自給率の変化

1960年代…【 】期

都市部の人口増加にともなって建築ラッシュとなり、木材の需要が急激に伸びる。



国産の木材だけでは足りなくなり、外国産の木材を輸入…さらに自給率が低下



2000年代…バブル崩壊～リーマン・ショックなどの不景気

新築の家を建てる件数が減り、木材の需要も減った結果、外国からの輸入も減る。



徐々に自給率が回復（現在は約35%）

## ◇木材ができるまで

苗木づくり⇒植林⇒下草刈り⇒枝打ち⇒【 】 ⇒伐採<sup>ばっさい</sup>⇒搬出<sup>はんしゅつ</sup>

## ◇木材の輸入

輸入相手国…1位【 】・2位 アメリカ・3位 オーストラリア

## ◇木の種類

日本の国土の約【 】分の【 】が森林。うち、約70%が針葉樹、約30%が広葉樹。

針葉樹：マツ・スギ・ヒノキなど。成長が早く、まっすぐなので木材に向いている。

広葉樹：ブナ・ケヤキ・サクラなど。曲がりながら生えることが多いため、木材に向かない。

森林には、根で土を抱え込むことによって土の中に水をたくわえ、土砂崩れを防ぐなどのはたらきがあるため、【 】の【 】と呼ばれている。

人工三大美林：【 】・【 】・【 】  
(静岡県) (三重県) (奈良県)

天然三大美林：【 】・【 】・【 】  
(青森県) (秋田県) (長野県)